

平成23年10月31日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

濁沢川地すべり性崩壊現場における 無人化施工の見学会を開催します

5月22日に立谷沢川支川濁沢川池ノ台において発生した大規模な地すべり性の「深層崩壊」は、1.5kmにわたり濁沢川を流下しました。しかし、既設の砂防堰堤により捕捉され、下流域に土砂被害は及びませんでした。しかし、濁り水が発生し流下し、水利者において苦慮しているところです。

現在、崩壊斜面での調査観測により、斜面の安定性を確認しつつ、河床に貯まっている異常堆砂の急激な流下を防ぐ対策工事に取り組んでいるところです。その中で、人が近づけない場所においては、無線操縦の重機を使用した無人化施工を行っています。遠隔操縦による無人化した施工の状況をご覧できるよう現地見学会を開催します。

1. 開催日時 平成23年11月7日(月)10時00分集合、12時30分頃解散予定
2. 集合場所 東田川郡庄内町瀬場地内 月山林道入口(別添図参照)
集合場所からは、先導車の案内で移動します。
3. 参加申込 別紙により11月4日(金)15時まで送付をお願いします
4. その他 現地は危険ですので、ヘルメット、長靴等を持参するとともに、現地では国土交通省職員の指示に従ってください。

参考 : 深層崩壊による土砂崩壊量 約190万立方^m
濁川に流出した土砂量 約110万立方^m

<発表記者会：新庄新聞放送記者会、酒田記者クラブ、山形県政記者クラブ>

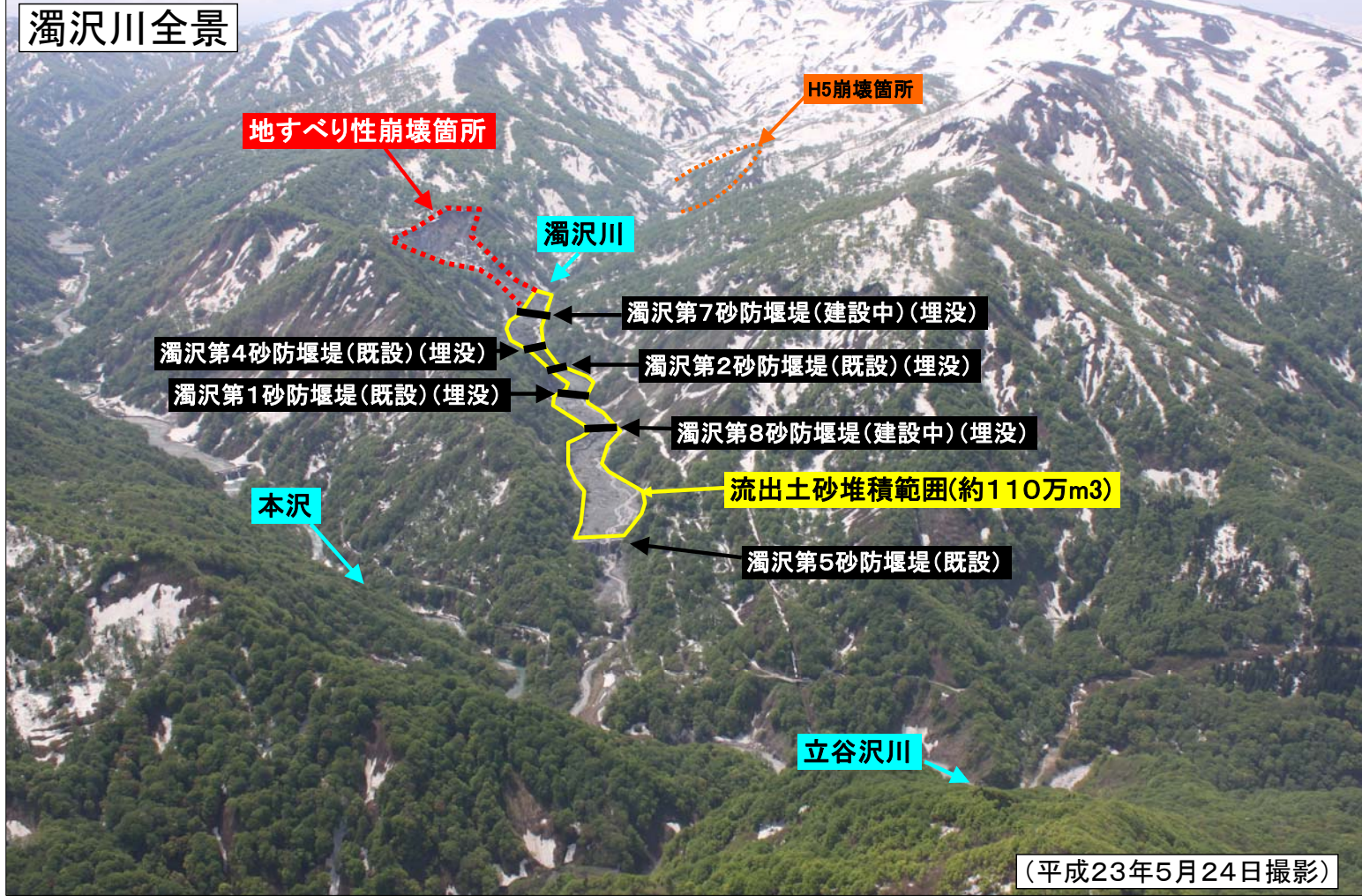
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0251(代)

副所長	たかはし 高橋	たかお 孝男	(内線204)
工務第二課長	いしかわ 石川	じゆんいち 淳一	(内線321)

濁沢川全景



崩壊土砂は、3基の砂防堰堤を埋積し、約1.5km下流の「濁沢第5砂防堰堤」止まっています。

地すべり性崩壊現場全景



斜面長約470m、幅約350mにわたり深層崩壊し、約190万立方メートルがくずれた池ノ台地区。崩壊斜面脚部で無人化施工が行われています。

無人化施工オペレーター室



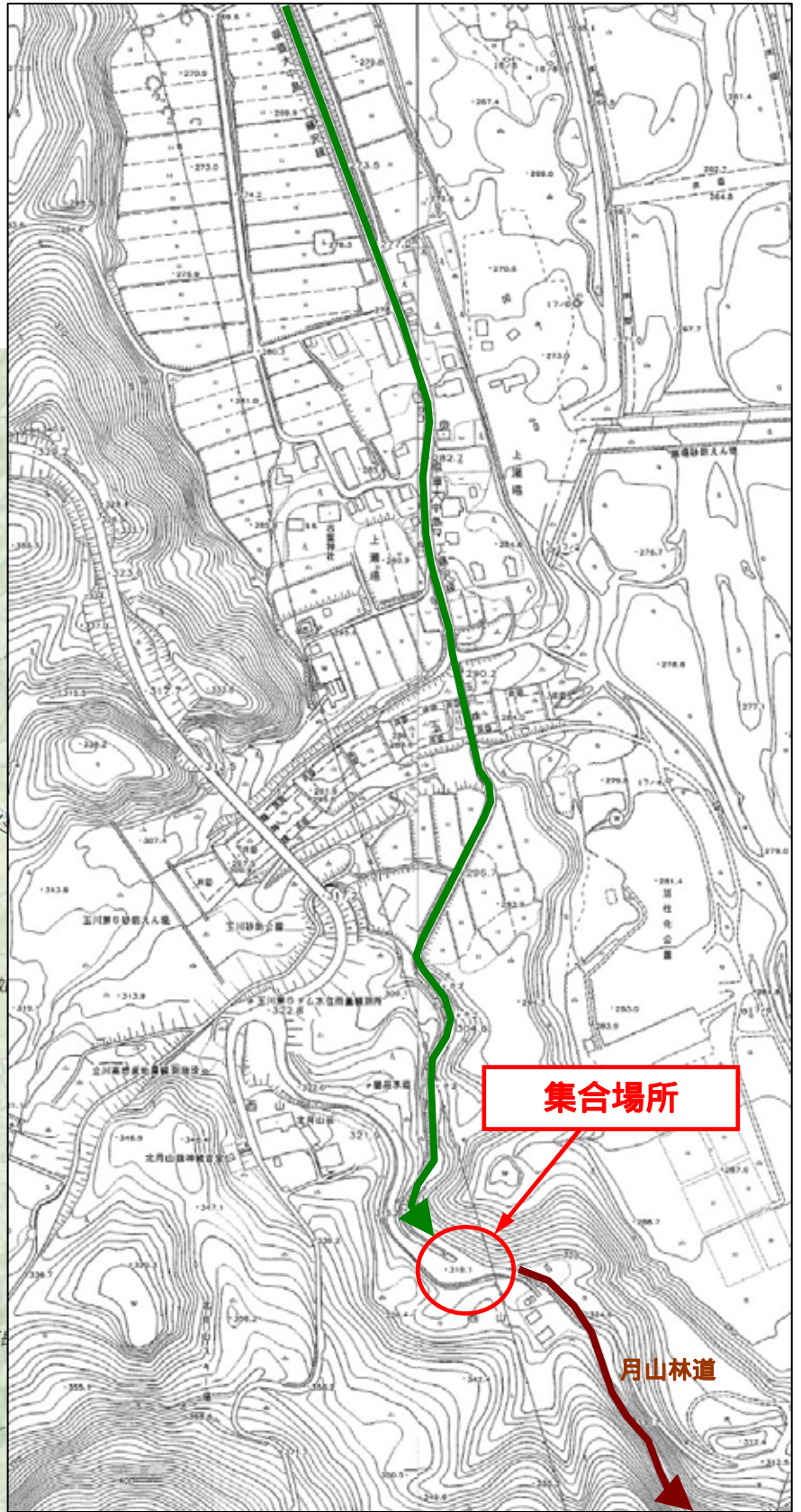
多数のカメラ・モニタをとおして無線で重機を操縦しています

無人機施工状況



モニター室から重機や周辺に設置したカメラにより無人で進入路を施工しています。

集合場所案内図



(別紙)

現地説明会参加申込書

国土交通省新庄河川事務所
工務第二課 石川 あて

FAX : 0233-23-7350
(TEL : 0233-22-0256)

報道機関名	
参加者氏名	
連絡先 (電話番号)	